

本日の登壇者は5人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） 皆さん、おはようございます。新政会の作元でございます。

質問に入ります前に、去る4月14日から15、16、17と発生をいたしました熊本大地震によりまして、被災をされ、また亡くなられた方々に対しまして心からお見舞いを申し上げ、お悔やみを申し上げたいと思います。早い復興を今どんどん目指してやっておられますので、できるだけ早くあの有名な熊本城などが早く復興されるように願っているものでございます。

昨夜も九州地方を大雨が襲ってまいりました。時間雨量150ミリというすごい雨で、また被害が出てるんじゃないかなというふうに思いますけれども、我が対馬市でもこの梅雨末期にかけまして、去年、瀬川が氾濫したような、そういう大雨が発生する可能性があります。市民の皆さんに予報や予防やそういったことを十分、市としても注意をしていただきたいなというふうに思っております。

国境離島新法も4月20日に成立をいたしました。きのう、おとといからずっとその話を出していただいておりますけれども、きのうは谷川弥一代議士をお招きをいたしまして、感謝の集い、これが対馬期成会の音頭を取っていただきまして、たくさんの皆さんに出席をいただいて盛大に開催をしていただきました。代議士におかれましても、大変喜んで、この法案をつくったということの喜びを自分もかみしめておられました。

そしてまた、いいことか悪いことかわかりませんが、帰りの飛行機が欠航になりまして、そしてけさの6時45分のジェットフォイルで帰られることになりました。いろいろ雑談の中で話をするうちに、やはり離島の厳しさ、いつも私たちはこういった飛行機や船の便を気にしながら、出張をしたり、いろんな生活をしてるんですよという話をしておきました。ジェットフォイルの建造もまた後でお話をしますけれども、きょうはジェットフォイルに乗って帰っていただきましたので、その2時間という時間も本人も考えながら福岡のほうに向かって行かれたと思います。

それでは、通告をしておりました新市長の所信表明の中から交流人口等拡大ということがございます。そういう観点から、私は観光ということをして昨年3月にもこういう質問をしましたけれども、交流人口の拡大は観光、これが私は目玉になってくるのかなというふうに思っております。新法も通りましたし、運賃の低廉化も多分図られてくるのかなというふうに思いますけれども、まず、きのうも大浦議員も質問しておりましたが、観光地の整備ということで、上から下までいろんな対馬には観光地があります。でも、まだまだ未整備というか、みんなに3時間か5時間か見てもらえるような体制にはなっていないというふうに思います。それで、きょうは浅茅湾一体、ここの観光地の件について質問をしてみたいと思います。

まず1点目は、あそうベイパーク、これが今玄海ツツジの森づくりということで、約十二、三年かけて整備をされております。私も何回か行ってはいますが、非常にすばらしい、3月から4月になると玄海ツツジの花が咲き誇って、それこそ半日ぐらいいはゆっくり、あそこで遊歩道もありますし、遊んで、家族を連れていけるのかなというような今公園になってきております。

市長も選挙公約の中で、こういった観光地づくりということについては話をされておりましたので、ぜひこのあそうベイパークの中のあの一帯、約5ヘクタールぐらいあるんですが、どうも行って見えますと、玄海ツツジは2万二、三千本、もう植栽されているんですけども、遊歩道とその景観、外を見るために、今、木がもう大きくなり過ぎて、国定公園の第二種ですから非常に伐採とかいうのは難しいんでしょうけれども、やはりあいった公園をつくり上げるためには、外を見る景観も必要ですから、ぜひ木を少し切らせてもらった方がいいのかな、歩いてみて私はそう思うんですが。

あそこをずっと歩いて行くと、昔、展望台みたいなやつがつくった跡じゃないけど、まだ残っておりますね、もう登られんでしょうけども、あれには、あいったものもそのままほったらかしになっているような状態ですから、やるなら、もっとあれもつくりかえて、子供たちがちょっと遊べるぐらいの遊具でも置いて、そしてぐるっと散策をして、回れる道路ももっときれいにしてやるべきじゃないかというふうに思っております。

これは美津島、豊玉、厳原、20人から30人ぐらいのボランティアの人たちが一生懸命植栽をしたり、あるいはカズラ切りをしたり、こういったことをしながら、つくり上げていただいておりますので、ぜひこれからもそういった人たちと十分話し合いをしながら、この公園をすばらしい公園につくり上げていきたいなというふうに思っておりますから、市長の考え方を伺いたいと思います。

そして、あそこにあそうベイパークという道路の入り口に看板はありますが、やっぱり玄海ツツジがいっぱい咲いたような写真を撮って、大きなパネルをつかって、ここはこういったところですよ、馬もおりますよというような案内板を、あそこに大きいやつを設置して、馬事公園にはありますね、馬の写真が載ったやつが。あいったものをつかって、もっともっと観光に来る人にPRしたらいいかなというふうに思いますので、その辺も含めてお伺いしておきます。

2つ目は、これも一緒ですけども、神話の里公園の整備。ここもやはり、もう20年ぐらいほとんど手がつけられておりません。それで、1日に30台から50台ぐらいの観光バスがやってきました。やはりこの真ん中で言うと浅茅湾を、景観を見るには烏帽子岳の頂上が最高だというふうに、観光に対馬に来た人、私もそういった仕事を少ししてはありますが、どうしてもここにはやりたい、ここを見てほしいというポイントが烏帽子岳でございます。

ただ一つ、道路が急なところもあって、今、信号をつけていただいておりますけれども、バス

との離合のときに非常に危ない。そしてこの前、産建委員会の中でも少し話が出ましたが、霧と
か雨のときに、どうも信号が作動しないときがあるという話を聞きましたので、やはり事故が起
こってからじゃ間に合いませんから、ぜひこれもよくもう一回精査をしていただいて、スムーズ
に車の離合ができて、お客さんに悪い負担をかけないように、ぜひやっていただきたいなとい
うふうに思います。

それから、トイレもそうです。あそこの管理人の話を書きますと、水を流しても流しても真ん
中にたまってしまふんだと。それで、非常に飛んで回らないかんちゅうような状況だそうで
す。それで、もう一回よく見て、トイレの整備ももう一回、あれだけの観光客があそこに来て
るんですから、今は韓国人が多いですけども、やはり国境離島新法が通って、いろんな方が
来るようになる、もっともあそこは第1スポットですから、やはりもっと整備をしてもら
いたいなというふうに思います。

それと、3月、去年にも話をしましたが、観光のシンボルであります入りの赤鳥居。これも
もう平成2年につくられたものですから、もう大分色もあせてると思うんです。だから、つ
くられたときの色は僕もよくわかりませんが、もっと鮮やかな真っ赤かだったんじゃないか
なというふうに思いますし、一回見積もりでもとってもらって、あそこが入り口ですから、
浅茅湾一帯の、ぜひこれも検討していただいて、きれいなやつに塗りかえて、こっから先
は神話の里公園よ、こっから先はすばらしいところがあるよというふうな、入り口のシン
ボルマークとして整備をしてもらえたらなというふうに思います。

その赤鳥居の話を書きましたが、そこから和多都美神社まで桜の木が、老木が結構ある
んです。それで、その老木ももう五、六十年たってると思うんです。それで、全部てんぐ
巢病にかかって、枝がごちゃごちゃして、桜は大体60年ぐらいが限度だそうなので、一
回ここで全部すっぱり切って、そして新しい植栽をして、観光通りの並木道をつくら
うかという気がしておりますので、そこもひとつお尋ねをしておきたいと思
います。

それから、大きな2点目ですけども、ジェットフォイルの建造、前から言われてるん
ですけども、これは市でどうのこうのできる問題じゃないんですが、日本に今ジェ
ットフォイルが7航路。このうち6航路が国内航路、1航路は国際航路、これはJR
ですけど、この中で21隻が今運航されております。もうほとんどが20年以上
建造からたった、老朽化してきておりますので、修繕とかドックに入ったときに
少し前よりも時間がかかるようになってきた、運休の時間が。それで、やはり
これも25年ぐらい前には28億ぐらいでできてたんですけども、今50億かか
ると。非常に高い。

やっぱり商船会社も簡単につくることはできませんが、坂本県議がこの前、商船
会社の社長さんたちと一緒に同行して、国会議員の先生のところまでお願いに行
ってるんです。それでいろいろ

る検討をされてるみたいなんです。どういった方法でつくるか、各航路に1隻ずつ、年間3隻。年間3隻をつくと、今、川崎重工がその特権を持ってるんですが、技術者が今おるうちに川崎重工に3隻ぐらいを頼めば受注してくれるんじゃないかなという話は聞いてるんです。

3隻のうちの長崎県の場合は、九州商船と九州郵船とあって、五島航路と壱岐・対馬航路にジェットフォイルがおるんです。だから、県が2隻をつくるちゅうことになる、大変な金になってくる。だから、そのところも長崎県としては各市長さんたちとよく話をして、どちらを先にするかということも決めていかないと、一遍に2隻は無理だろうと思いますし、1隻も無理かもわかりませんから。

こういったところもよく横の連携をとって、そして県議も4人おられますので、県議とも相談をし、そしてこの新法をつくってもらった谷川先生にもよく相談をされて、国のほうでやはりこのジェットフォイルの建造はやってもらわないと、県や市ではとてもじゃないが無理だろうと思ってますし、この国境離島新法の予算でこの船をつくるちゅうのは非常に難しいですから、その辺もよく市長も連携をとりながら進めていただきたいなというふうに思います。後でまた答弁によって質問させていただきます。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） おはようございます。作元議員の御質問にお答えいたします。

まず初めに、浅茅湾一帯の観光地づくりについてであります。対馬市の観光施策は、大陸との交流の歴史・文化と豊かな自然、豊富な海や山の資源、これをアピールし、誘致活動を行っております。中でも対馬の中央部に位置する浅茅湾は、対馬観光を代表するリアス式海岸で、大小無数の小島と海岸が織りなす景観に加え、その周辺には白嶽、金田城、万関橋、烏帽子岳、和多都美神社などたくさんのお見どころが集中しております。市では、市民や観光で訪れる皆様の利便性を図りながらも、豊かな自然を守りつつ、つまり手を加えることを最小限にとどめ、観光客誘致、観光振興を図っているところでございます。

観光客の多くは、対馬の豊かな自然を見て、触れて、体感することを目的に御来島いただいております。これからもこの豊かな自然や歴史・文化を保存・保護することを念頭に、施設整備等にも取り組んでまいりたいと思っております。

この中で、1点目のあそうベイパークについてでございますけれども、あそうベイパークにつきましては、玄海ツツジ、ツバキの育成地整備事業として、平成15年度から取り組んでおりますが、民間のボランティア団体の皆様との協働で、玄海ツツジが群生する花の名所としてつくり上げる計画でございます。現在、約2万本のツツジを植栽しておりますが、樹高が低いと雑草や雑木に負け生育できなくなるため、一定の大きさになるまで下刈りなどの育成・管理を行っていかねばなりません。引き続き、愛情を持って接していただいている民間団体の皆様の御協力を

いただきながら、玄海ツツジの森づくりに取り組んでまいりたいと思います。

また、この中で御質問がありました入り口の案内板等は今後検討させていただきたいというふうに思います。

次に、神話の里及び烏帽子岳周辺の件については、キャンプ施設の有効活用、施設の管理面等、計画的に整備してまいりたいと考えております。この烏帽子岳につきましては、私自身も対馬観光の核であるという認識をしておりますので、一生懸命に頑張ったいと思います。

また、この信号の整備につきましては、本日のような霧のときには支障が出るということも聞いております。2日ほど前にもその話を聞きまして、担当課のほうにもその対策について指示をしているところでございます。そして、トイレの整備についても、簡易洋式ではありますが、またこれも調査をさせていただきたいというふうに思っております。

次に、赤鳥居の塗装についてでございますけれども、これも烏帽子岳、神話の里周辺のシボリックなものでございますので、ぜひここら辺の塗装の改修についても前向きに行っていきたいというふうに考えております。

次に、この浅茅湾の観光の名所化についてでございますけれども、冒頭申しましたように、浅茅湾のこの美しい自然を保護しながらも、渡海船やシーカヤックで体験できるメニューづくりを今後は検討してまいりたいというふうに考えております。

次に、ジェットフォイルの件でございますけれども、老朽化するジェットフォイルでございますが、ヴィーナスは平成3年3月竣工で25年が経過し、ヴィーナス2は昭和60年6月竣工で30年が経過しております。ジェットフォイルの建造につきましては、費用が1隻約50億円、3隻以上の発注がなければ建造費が高くなるため、着手できないとのこと聞き及んでおります。

これまで対馬市も、国や県に対して国境離島新法制定に向けての提案など、あらゆる機会を通じて提案をまいりました。国においても、平成27年度の概算要求でジェットフォイルや高速船の建造に対する支援制度の創設が検討されましたが、政府予算案としては見送られたとの経緯があると聞いております。

その後、海運事業者と独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構がジェットフォイルの建造費を分担する船舶共有建造方式が見直され、自治体による支援と一定の要件を満たす場合に、ジェットフォイルの共有期間、通常9年を最大15年に延長する措置が講じられております。これは、共有期間が法令上の耐用年数である9年では船舶共有建造方式の活用が困難であると判断され、15年に延長されたものですが、確認したところ、今年度ジェットフォイルの建造の申し込みはまだなかったそうです。

ヴィーナスの利用者は、平成26年10万3,867人、平成27年11万7,170人と、対馬島民の本土への足として、また島外からの観光客の呼び込みなど、交流人口の拡大にはなくて

はならない海上交通手段の一つであります。

全国においては、年間240万人が離島と本土を結ぶジェットフォイルを利用しています。日本旅客船協会によりますと、ジェットフォイルの寿命は比較的長いですが、船体や水中翼は25年が目安とのこと。また、新船の建造が20年以上中断しており、エンジンや部品も製造中止になっており、近い将来、部品の調達ができなくなる可能性も指摘されています。故障のたびに長期運休ということになれば、生活や観光への影響ははかり知れません。

ジェットフォイルは多額の建造費が必要ですが、仮に共有建造方式によりジェットフォイルを建造しても、事業者の負担はまだ大きく、料金に転嫁されるため、利用者の負担増につながります。やはり運賃低廉化を図るためには、建造費自体への国の補助制度の拡充が必要と思われますので、長崎県離島振興協議会などと連携しながら、ジェットフォイルの建造に対する支援制度の創設や政府予算の確保について要望してまいります。

また、平成28年3月25日の参議院予算委員会において、金子原二郎先生が航空運賃の低廉化やジェットフォイル建造に対する国の措置を強く要望されております。ジェットフォイルの寿命と発注から完成までの時間を考えれば、対馬市として、長崎県を初め運航事業者、ジェットフォイルや高速船が就航している他の離島自治体など関係機関との連携を図り、国の補助制度拡充について早急に取り組む必要があると考えておりますので、議員の皆様におかれましても御理解御協力をいただきますようお願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） ありがとうございます。あそうベイパークの件から一、二点お尋ねをしたいと思います。玄海ツツジとツバキもそうですが、玄海ツツジよりも約2週間から1カ月おくれて、ミツバツツジちゅう、花がちょっと小さい紫の濃い花が咲くんですが、これとボランティアの話を聞いてみますと、この苗というか、小さいやつを100本ぐらい残してたそうなんです。それを、いつの間にか切り取られてしまっていて、その100本がなくなったんだということで、玄海ツツジが咲いてミツバが咲くんですね。それで、観光に来た人が、長い間あそこで花が見れるというふうなシステムになってくるんですが、このミツバツツジの植栽もいろいろ考えておられたみたいなんです。

それで、非常に苗をつくるのが難しいみたいで、玄海ツツジは今3,000本ぐらいまだ苗を持ってるそうです。それで、ボランティアの方々も高校生や中学生にも話をかけて、もう一回、今植えてるところじゃなくて、今度は希望の丘がありますよね、入り口に。これ、平成7年かな、美津島時代につくったもの、馬か何か暴れて上るような像があるところ。あそこから先が、やっぱり僕はベイパーク一帯の公園整備になってきやせんかなと思ってますから、希望の丘の斜面に結構いっぱいあったんです、このミツバツツジが。

それが、ことし行ってみると半分ぐらいに減ってるんです、何か知らんけど。だから、何であれがなくなったのかな、鹿かイノシシかわかりませんが、やはりそういった被害ももちろんあるそうです。だから、イノシシが根をほじくり返したりするらしくて、でもミツバツツジも一緒に植栽をしていかないと、長い間あの公園を維持できていかんよという話をされておりましたので、ここも担当課とよく話をして、ボランティアの中にそういった専門の方がおられますから、どういふうにしてあそこをすばらしい玄海ツツジの森に仕立てていくのかということを一話し合いをしてください。

それと、あそこは最初は県がかなり金を出したんでしょうけど、あの道路ももう少しきれいに整備してもらわにゃいかん、歩いて回るところを。そして、さっき言いましたように、あそこにも木造でやぐらみたいなのが建つところがありますよ、ずっと先に行くと。あそこももう一回やり直すか、それとも今、あれをつくったときには周囲の木が小さかったと思うんです。それで、ずっとあたりが見渡せたんだろうと思ってるんです、今私が考えると。今、横の木が太ってしもうて全然見えんちゃんね、あそこに登ったって。だからこれも、ああいったものをつくってるときにはそれでよかったんですけど、もう20年も25年もたったら、雑木とか、それこそ10メートルにもなります。

だから、こういったのは、県も説得をすれば私は切らせてくれると思いますよ。そうせんと、きれいな森にはならない。茂ってしまうばかり。だから、ところどころ抜いて、そして風通しをよくして、玄海ツツジやミツバがちらちら咲いていくような公園にしていかないかんというふうに思ってますから、もう一回、県ともよく話をされて、せっかく地方創生でいろんなことをやれやれ言いながら、そういったところで規制をかけられたんじゃ何もされんやないですか。やっぱり本当につくり上げようと思うなら、県にも文句を言うて、そこも認可をしてもらわないかんよ。そう僕は思います。

だから、そうすると、あそこにキャンプ場みたいなのところもあるし、バーベキューのできるところもあるし、ああいったところを有効に活用できてくるというふうに思いますから、ぜひそこも希望の丘からグラウンドゴルフができる公園、そして馬がおるところ、そしてツツジ公園、ここをひっくるめて大きな公園にして、対馬に来たら一日そこで遊べるよというようなところをぜひつくり上げてほしいと思いますので、よく検討してください。

それから、神話の里ですけども、どうしてもやっぱりあそこも韓国人が今いっぱいなんです。それで、よく神社の参拝には訪れているみたいなんです、おさい銭は全部ウォンですっちゃんね、円ですりゃいいちゃばってん。10円でもいいちゃけん、10ウォンやらされたってどうもこうもならん。やっぱりそれはエージェントの人とか、案内をする人に10円でもいいから神社を参拝するときには、おさい銭をあげてくれんかというような話をされた方がいいと私は思います。

迷惑になるばかりやん。やっぱりトイレも使うし、そういったところは、もうちょっと市のほうからも私は言うていいじゃないかなと思うし。いっぱい来てますよ、あそこは本当に。だから、掃除をする人も大変だと思いますから、そういったところもぜひ注意をしていただきたいなというふうに思います。

それと、信号の件なんですけど、最初はどうもなかったっちゃろうかね、あれ。今になってそういう話を聞くちゃけど。最初からだめやった違うか。それはまた後で教えてください。

ジェットfoilはまた後で。今、この2つだけでいきましょうか。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 玄海ツツジとコバノミツバツツジの苗についての件からでございますけれども、議員おっしゃられるように、まず玄海ツツジが咲いて、その後コバノミツバツツジが咲くというようなことでございますけれども、この苗についても、せっかく植えた苗を心ない人が持って帰ったり、そういった盗掘にも遭っているといった話も私のほうも聞きました。そういうことで、ボランティアの方たちは、それをまた補植をしながらしていただいているんですけども、こちら辺についても再度このボランティアの方たちとも、いつまでもボランティア、ボランティアじゃなくて、やはり市としてもきちんと予算を組むところは予算を組みながら、対応してまいりたいというふうに考えております。

それと、希望の丘から遊歩道、また施設等の整備につきましても、県と協議しながら、ここもまた再度見直し、整備を進めていきたいというふうに考えております。

○議長（堀江 政武君） 19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） ぜひ、ボランティアの方も一生ボランティアちゅうわけにもいかんし、やっぱり大きいやつを切るやつは市でやって、そして下のカズラ切りとか、根に巻いたカズラとか、そういったのはボランティアでされるそうですから、大きいやつを切ってもらっておかないと、ボランティアがなかなか入りにくいという話もしておられますから、整備をするなら今90万ぐらい金がついとるとかな、もっと増やして、やっぱり一大観光地としてつくり上げるなら、80万や90万じゃ無理でしょう。

だからもっと、せっかくですから、1カ所ずつでもいいからきれいなものをつくって、巖原のほうからも話が出ておりますように、清水山城もそうですよ。そういったところも金をかけてつくり上げていかないと、なかなかいいものにはならないというふうに思いますから、新しい比田勝市長になったんですから、ぜひ視点を変えて、観光地の名所づくりに励んでもらいたいなというふうに思います。

そういったことを市がしっかりとやってくれさえすれば、ボランティアの人たちも一生懸命やってくれますので、ぜひそうしてほしいし、福岡対馬会とか関西対馬会とか、こういったところ

にも対馬のそういった森づくりに来てくれるような人はおらんかなというふうな投げかけもしてみてください。ふるさと納税も一緒ですけど、そういったことも含めて、海外からの人たちの応援ももらって、こういった名所づくりを下・上・中というふうにしっかりとつくり上げてほしいというふうに思います。

この件はそれで終わりますけれども、ジェットフォイルの件ですけど、先ほど市長も詳しく説明をされましたけど、この1回で二百何十人も運べる航路というのは、フェリー以外にはジェットフォイルしかありません。そして、やっぱり3メートルぐらいの波でもジェットフォイルは走りますし、結構安全性が確保されておりますので、離島はぜひこのジェットフォイル、これを大いに活用したいとどこも思ってると思います。

佐渡汽船、僕も佐渡に何回か乗って行きましたけども、佐渡汽船はもっと多く走ってるもんね。1時間の航路ですから、あそこは、5往復ぐらい走ってっちゃいけないかな、佐渡まで。だから、あそこも同じジェットフォイルです。エンジンはボーイング社ですから、エンジンは製造してないと今言いましたので、もう20年もつくってないから、最初からやりかえみたいなのが好になるのかなというふうに思ってるんです、このジェットフォイルをつくるのは。

だから、諦めるのか、この航路を廃止するのか、こういったこともやはり要望に行ったときには、折衝に行ったときには「ジェットフォイルをつくってくれんと、島はどうなるんですか、我々は作り切れませんよ」というふうな話を強く持っていかんと、「ああ、どうでもいい」ようなこっちゃだめですよ。だから、どうしても国につくってほしいと、そうしないとフェリーだけでは4時間も5時間もかかって誰も来てくれんというような話をして、そして離島、自民党の特別委員会の委員長は谷川先生ですから、ここを私は通じたほうがいい。

だから、国境離島新法も、あれだけ難しいものを国会議員にしっかり根回しをして、そしてつくり上げてくださったんですから、このジェットフォイルは、僕は簡単じゃないかなと思うっちゃけど、お願いをしっかりすれば。だから、長崎県ほとんど国境離島ですから、ジェットフォイルを持っているところは。

だから、もう一回組み直して、今度はジェットフォイルでいこうやというような活動をしたらどうかなというふうに思います。東海汽船、佐渡汽船、九州郵船、九州商船、こういったところですので、隠岐もそうでしょうけど、だから、長崎県にも北村先生とか金子先生とかおられますから、もう一回組み立て直しをして、そして県議会も使って、ぜひこれはやってほしいと思いますので、もう一回しっかり答弁をしてください。

○議長（堀江 政武君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 申しわけございません。議員さんおっしゃられるように、この長崎県でも長崎県離島振興協議会が結成されておりますけども、私も副市長時代から、この件につきまし

ては、ぜひとも他の首長さんにも協力をお願いして、絶対やっていかななくちゃならない問題だというふうに認識しております。そしてまた、今後もおっしゃられるように、他の国境離島の首長さんにもこの問題をお願いをいたしまして、谷川先生を初め、各国会の先生たちのほうに通してお願いをしてまいりたいというふうに考えております。どうかまた、議員皆様もこの件に関して御協力をお願いしたいというふうに考えております。よろしく願いいたします。

○議長（堀江 政武君） 19番、作元義文君。

○議員（19番 作元 義文君） ここで結論が出るような話じゃありませんから、そういったところで、このジェットフォイルだけは将来の島の発展のためにぜひやっていかなければならない問題です。これはきのう谷川先生とも話をしましたので、非常に難しいとかいう話をされておりましたけども、自信がありそうなことも言われました。ただ、どれだけみんなの熱意が伝わるかです。

隠岐には細田先生もおられますし、佐渡も青木先生もおられます。いっぱいおられますから、ぜひそういったところで取り組んでください。そして、早いうちにこの建造ができますように、そして観光名所、観光スポットが十分意気上がってきますように、ぜひ市としても努力をしていただきたいと思います。

以上で、僕の質問は終わります。ありがとうございました。

○議長（堀江 政武君） これで、作元義文君の質問は終わりました。

○議長（堀江 政武君） 暫時休憩します。再開は11時からとします。

午前10時43分休憩

午前10時59分再開

○議長（堀江 政武君） 再開します。

1番、春田新一君。

○議員（1番 春田 新一君） 皆さん、改めましておはようございます。清風会、1番議員の春田新一でございます。

3月28日、初登庁されましてから3カ月になろうとしております新市長、本当に当選おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。また、比田勝市長におかれましては、選挙公約で5つの拡大戦略を掲げられて選挙戦を戦われ勝利をされました。その一つが交流人口の拡大、産業所得の拡大、それから人づくり・教育の拡大、健康福祉の拡大、快適生活環境の拡大ということで、5つの戦略を公約に掲げられておられます。

交流人口の拡大ということで、先ほどから質問があります観光基盤、また施設の充実、